

年	組	名前
---	---	----

円安や九州結ぶチャーター便増

伸びる台湾の宿泊者数

親日的で根強い観光需要 県、情報発信強化へ

県内を訪れる台湾の観光客が増えている。今年の宿泊者数は近年最高だった昨年を上回るペースで、円安による割安感や、九州各地など台湾を結ぶチャーター便の増加が要因。県は親日的で政治情勢に左右されにくい台湾からの観光需要は根強いとみて、九州を訪れた観光客を県内に引き込もうと商談会などに力を入れる。

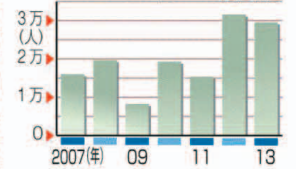


九州の観光を紹介する番組制作のため撮影する台湾の制作スタッフ。田布市湯布院町

県によると、昨年の台湾からの宿泊者数は約3万1500人で、現在の調査方法になった2007年以降最高となった。今年8月までには2万9500人を突破し、順調に数を伸ばしている。

台湾からの観光客は全国的に増加。熊本県では台湾・高雄市と結ぶ連続チャーター便が8月に運航開始するなど、九州各県でも誘致に取り組んでいる。県交通政策課は他県に入ってきた訪日客が周遊して、大分県内の宿泊者増につながっていると分析。今後の東

台湾からの県内宿泊者数 ※2013年は1～8月速報値



九州自動車道の開通で周遊しやすくなることも見据え、情報発信を強化する。今月中旬に台湾である観光イベントで大分をPRする予定。旅行会社などに向けた売り込みにも力を入れる。

同課は「台湾の訪日客はリピーターが多い印象。まずは九州に来てもらい、大分に足を延ばしてもらいたい」と期待する。九州運輸局と九州観光推進機構、JR九州は、九州のPR番組制作してもらったため、9月に台湾のテレビ番組スタッフを招待した。

× 県は2003年から外国人旅行者増のため訪日旅行促進事業を実施。2012年の台湾からの訪日客数は開始時の約2倍の146万人になった。国土交通省航空局によると、12年度の日本台湾間の国際チャーター便許可数は1258便で、中国の2877便に次いで多い。チャーター便誘致に助成する自治体は多いが、大分県は実施していない。当県は宣伝活動などに力を入れる方針

県内では田布市湯布院町の金鱗湖や湯の坪街道などを撮影。プロデューサーのアイク・スー氏は「大分は温泉や美しい景色で有名。台湾の視聴者にPRしたい」と話した。番組は10月から1月まで全13回の放送予定で、そのうち大分は2回取り上げられるという。

大分県内を訪れる台湾の観光客が増えていきます。今年の宿泊者数は近年最高だった昨年を上回るペースです。

①昨年と今年の8カ月の宿泊者数を比較し、今年は何人程度多いか計算しよう。

.....

.....

.....

.....

②今年が近年最高ペースとなっている理由は何だと考えられますか。

.....

.....

.....

.....

③台湾の旅行者にアピールできる大分県の魅力を考えよう。

.....

.....

.....

.....